



▲記録的大雪

2月14日から翌日未明にかけて降り続いた雪は、「50年に一度の大雪」と言われ、市民の暮らしに大きな影響を及ぼしました。終日バスは運休、朝刊は届かず、駐車場の屋根が損壊した家もあり、農作物も大きな被害を受けました。【高橋 元】



▲地域・学校で役立てよう「救命」の知識

2月19日、大上自治会館で大上自治会と大上防災リーダー会の共催による普通救命講習が開かれました。災害時に役立つ普通救命の有資格者の育成を目的としたものです。参加した大上地区社協の会員と地域の高校生が真剣な表情で受講しました。後日、受講者全員に救命技能を有する証として、認定書が交付されます。【吉江 旭】



▲和やかに国際交流

2月23日、文化会館で「あやせ国際フェスティバル」が開催されました。「綾北マーキュリーウィーンズ」の演奏を皮切りに、スピーチやさまざまなパフォーマンスが行われました。会場に設けられた売店では、珍しいおやつも販売され、300人ほどの来場者が笑顔で楽しんでいました。【河野 実】



▲昔話の世界が目に浮かびました

3月2日、中村地区センターで綾瀬語りの仲間「あさみどりの会」主催の「第7回むかしばなしを楽しむ会」が開催され、60人が参加しました。会の方が、日本の昔話やイタリア、トルコの昔話を物語の情景に合わせ情緒豊かに語りかけました。参加者は「絵本の読み聞かせとは違い、目をつむって聞いていると、その情景が目に浮かんできました」と話してくれました。【福島 順一】



▲パソコン教室が開催されています

市民活動センターあやせでは、公益的な活動をしている方を対象に、毎月「市民活動パソコン講習会」を開催しています。「パソコンで団体のイベント案内や会計報告書を作りたい」「インターネットを使いたい」などと思っている方は、参加してみたいかがですか。【福島 順一】



▲ひな人形に囲まれて

3月4日、深谷大上ふれあいの家で恒例となっている「火曜喫茶」で、たくさんのひな人形が飾られていました。訪れた人たちは、人形を眺め、懐かしさや昔の思い出に浸りながら楽しいひとときを過ごしていました。【大滝 隆司】



災害時における放送等に関する協定を締結

2月25日、(株)ジェイコムイーストと「災害時における放送等に関する協定」を締結しました。地震、風水害、大火災などの災害情報を放送し、市民に迅速かつ正確な情報を伝達するための協定です。図防災対策課 ☎70・5641。



交通安全を願い、カーブミラーを点検

3月9日、綾瀬ライズクラブ(細川勝三会長)が、市内のカーブミラーを点検しました。点検奉仕は、少しでも交通安全の役に立てばという思いで昭和59年から毎年実施され、点検結果を基に市がミラーの建て替えや補修などを行っています。

皆さんからのミラーの破損などの情報提供の協力をお願いします。

図道路課 ☎70・5628。



署名記事は広報まちかど特派員から



▲県央ものづくり交流会

2月20日、オークラフロンティアホテル海老名で、県央ものづくり交流会が開催されました。綾瀬からは10社が出展し、製造業者など40社が参加し各社とも自社製品の熱気あふれるPRを行っていました。市内には417社の中小企業があり、県内では4番目の多さとなっています。【高橋 元】



▲男の料理教室

2月21日、北の台地区センターで、蓼川地区社協主催による、男の料理教室がありました。参加した10人は、講師の百瀬さんの指導を受けながら、「おふくろの味カレー」と和え物4品を作り、お昼に皆で味わいました。【大滝 隆司】



▲光の春

大雪で積もった雪もやっと消えて、その下から春の草花が顔を出しました。まさに光の春、輝いています。2月28日、吉岡の目久尻川沿いで。

【段木 武】